

－研究集会案内－

活性汚泥法誕生百年企画－3

活性汚泥法処理施設の設計・運転と電力消費

NPO 法人 21世紀水倶楽部

【企画趣旨】活性汚泥法施設運転のために大量の空気を送り込むなど多量の電力が必要で、下水道の電力消費は全国の0.7%にのぼっている。機器の技術進歩がある一方、設計条件と実運転の乖離による問題点も見受けられる。一方原発の停止により、電力のCO2発生源単位が上昇している。OD法を含む活性汚泥法水処理施設について消費電力の実態、省エネ方策の効果と問題点、今後の課題などを説明、討議して頂く。

【開催日時】2015年5月15日（金）14時～17時

【開催場所】（公財）日本下水道新技術機構8F中会議室（東京都新宿区水道町3-1）

【プログラム】

1. 省エネ技術革新総論 14:05～14:35
日本下水道新技術機構 資源循環研究部 石田 貴部長

2. 送風機の最近の進歩 14:35～15:05
（株）電業社機械製作所 社会システム技術部 坂本 浩部長

3. OD法など小規模施設の設計と運転 15:05～15:35
メタウォーター（株）プラントエンジニアリング事業本部
鈴木 和美 シニアアドバイザー

4. 質疑討論 15:45～17:00
コーディネーター 清水 治 副理事長

【参加者および参加費】 50名程度の参加者を予定

研究集会参加費 会員、大学、公共団体等無料 民間企業等2千円

【申し込み方法】21世紀水倶楽部ホームページ：参加登録フォームから。申し込みは5月7日（水）までをお願いします。ただし、会場定員に達し次第締め切らせていただきます。

【交流会】研究集会終了後、交流会（参加費1千円）を予定していますので、参加を希望される方は参加登録の際に申し込みください。

【問い合わせ】E-mail：sympo-info@21water.jp、Tel：03-3980-4567（担当：清水）